関数 $f(x) = |x| \sin^{-1} x$ が点 x = 0 で微分可能かどうか調べよ。

関数 f(x) が x=a で微分可能であるとは、x=a の左側極限と右側極限が一致するときをいい、この極限値を x=a における f(x) の微分係数という。

$$f'(a) = \lim_{x \to a-0} \frac{f(x) - f(a)}{x - a} = \lim_{x \to a+0} \frac{f(x) - f(a)}{x - a}$$
(1)

.....

f(x) は x の値により次のように絶対値を外すことが出来る。

$$f(x) = \begin{cases} x \sin^{-1} x & (x > 0) \\ 0 & (x = 0) \\ -x \sin^{-1} x & (x < 0) \end{cases}$$
 (2)

x=0 における右側極限を考える。

$$\lim_{x \to 0+0} \frac{f(x) - f(0)}{x - 0} = \lim_{x \to 0+0} \frac{x \sin^{-1} x}{x} = \lim_{x \to 0+0} \sin^{-1} x = 0 \tag{3}$$

同様に左側極限を考える。

$$\lim_{x \to 0-0} \frac{f(x) - f(0)}{x - 0} = \lim_{x \to 0-0} \frac{-x \sin^{-1} x}{x} = \lim_{x \to 0-0} \left(-\sin^{-1} x\right) = 0 \tag{4}$$

以上により f(x) は x=0 で微分可能であり、f'(0)=0 である。

 $y = xe^x$ の $I = \mathbb{R}$ における増加・減少を調べよ。

.....

y の導関数は次の式となる。

$$y' = (x+1)e^x, \quad y'' = (x+2)e^x$$
 (5)

y'=0 となるのは x=-1 のときのみで、y''=0 となるのは x=-2 のときのみである。

 $y \to \infty \ (x \to \infty)$ より $x \to \infty$ のとき、 $y' \to \infty$, $y'' \to \infty$ であり、 $y \to 0 \ (x \to -\infty)$ より $x \to -\infty$ のとき、 $y' \to 0$, $y'' \to 0$ である。

x	$-\infty$		-2		-1	• • •	0	• • •	∞
y'	0	_			0	+			∞
y''	0	_	- 0 +						∞
y	0		$-2e^{-2}$		$-e^{-1}$		0		∞

